

## 中学生の部

### 《特選》

あなたならどう考える

鳥居本中学校 3年

中村 榎乃 さん  
なかもろ かの

人権は難しい。嫌だと感じるのは個人差がある。この差別はしようがないと思うこともある。けど、守らないといけない。誰かが傷ついてしまうから。相手は見知らぬ相手かもしれない。だから大丈夫だと思うかもしれない。けど、相手は大丈夫じゃない。心の傷は治らない。だから、みんな守ろうとする。誰かを傷つけないように。

私は日常生活の中で感じたことがある。私は人権について分からなくなった。最近の出来事、私は制服をズボンに変えた。男の子になりたいというわけではなく。私は小さいころからおままごとやファッションなど興味がない。鬼ごっこやサッ

カーのほうが好きだった。周りからは男の子みたいと言われた。男の子になりたいわけじゃないのに。かといって女の子がいいというわけでもない。けど男の子と言われるのは自分を否定されたようで嫌だった。昔は自分だけが傷ついていると思っていた。しかし、最近では自分の性別について悩み、苦しんでいる人たちを傷つけているのではないかと考えるようになった。女の子になりたい男の子からは「もったいない。」男の子になりたい女の子からは「馬鹿にしてるの。」と。考えれば考えるほど分からなくなる。私はどうしたらいいのか。どうすべきなのか。みなさんがもし私の立場だったらどうしますか。考えないようにしますか。それとも女の子らしく生きようと思えますか。というか女の子らしいとは何ですか。中性でいいじゃないと思うかもしれない。自分には関係ないと私の問いかけを無視しますか。私だっ

て他人だったらそう思うと思

う。だけど、こつやって悩んでいる人は私だけではない。多くの人が悩む問題だと思う。だからいろんな人に考えてほしい。私のような思いを持っている人に対し、男の子というほうがいいのか。女の子というほうがいいのか。どちらがその人にとって幸せといえるのか。その人にとっての幸せとは誰もわからない。だからどちらが幸せなのか言う必要がある。だが私には出来ない。それは、私も自身の幸せが分からないから。もし分かったとしても私には勇気がない。だから周りには相談しない。

どれだけ考えても私は人権について分からない。だから誰にでも平等に接することができる。他人を思いやる心を持つ。嫌だと思ったら相手に伝える。たまには失敗して相手を傷つけてしまうこともあると思う。けど私はわからないなりに努力しようと思う。人権を守ることは大事だと知っているから。他人を不快な思いにさせるのは嫌だから。誰もが人権について分からないことだらけだと思

う。だけど人権の大切さについてはおわかんと思う。だから考えてほしい。人権を守るためにどうすべきか。そして悩んでほしい。相手を傷つけないためにはどうしたらよいか。

### 《選評》

あなた是人権を守るために何をしますか。

筆者の小さい頃からの体験や、最近の学校の制服が男はズボン、女はスカートという固定観念を打ち破りズボンに変えたという体験を記述しています。そこから人権の難しさや守ることの大切さを学んでいる様子が伝わってきます。

特に「あなたは人権を守るために何をしますか。」と問